

- 二五 光學器械
- 二六 物體ノ色
- 二七 光波
- 二八 光ノ干渉
- 二九 光ノ廻折
- 三〇 輻射線ノ諸作用
- 三一 光度測定
- 三二 暗黒體ノ溫度輻射
- 三三 すべてとる
- 三四 すべてとるノ種類
- 三五 結晶體ノ光學
- 復屈折 偏光ノ干渉
- すべてとる線ノ變位

- 三六 偏光面ノ廻轉
- 三七 磁氣
- 三八 靜電氣
- 三九 電場
- 四〇 導體
- 四一 電氣容量
- 四二 電媒質
- 四三 電池(化)
- 四四 電流ノ輪道
- 四六 おいむノ法則
- とらん橋
- 磁場 磁氣感應 磁氣ト物質 地磁氣
- くろんノ法則
- くろんノ法則
- 帯電ノ方法 靜電感應
- くろんノ法則
- さるひほつふノ規則
- ぼてんしおめーとる
- ほろーとす

四五 電流ノ化學作用(化)

四六 電流ノ熱作用

じゅーるノ法則 電流ノえねるぎー 熱ノ仕事當量ノ測定

四七 熱電流

熱電流ノ法則 べるちえー及たむそん效果

四八 電流ノ磁氣作用

びおー、さうあーるノ法則 簡單ナル場合ノ磁場 磁場カ電流ニ及ホス

作用 電流相互ノ作用

四九 電流計

五〇 電磁感應

れんつノ法則 感應動電力 感應係數 自己感應ヲ有スル輪道ノえねる

ぎー

五一 電磁氣量ノ諸單位系

五二 交流

磁場中ニ在ルこいるノ廻轉ニ依ル交流 いんぴーだんす 交流ノ實效値

各種ノめーとる 電力輸送(簡)

五三 電氣工學機械

五四 電氣振動

電氣振動 電磁波 電磁光論 針金ニ於ケル電磁定常波 無線電信(簡)

無線電話(簡)

五五 真空放電

五六 X線

X線ノ性質 結晶體ノ原子排列 X線すべくとる 原子番號

五七 放射能

α 、 β 、 γ 放射線 放射性元素ノ變成ト其ノ系統

五八 氣體中ニ於ケル電氣傳導

五九 物質構造
氣體ノいおん 飽和電流 電子 熱電子 光電子

質量すべくとる 同位元素 原子ノ構造 すべくとるノ系列輝線 せ
まん及すたるく効果(簡) 原子ノ崩壊 量子論ノ概要

六〇 相對性
特殊相對性理論ノ概要

注意

(簡)ヲ附記シタル事項ハ成ルヘク簡單ニ教授スヘキモノトス
(化)ヲ附記シタル事項及左記ノ事項ハ主トシテ化學ニ於テ教授スヘキモノトス

液體瀾散 滲透 すべくとる分析 光化學 電氣分解

備考

一 本要目ハ教授ノ順序ニ排列セシモノニアラス

二 中學校ニ於テ學習セシ知識ヲ有効ニ利用シテ授業時間ノ節約ヲ計ルヘシ
三 化學ト物理學ト互ニ交渉アル事項ハ兩者ノ要目ヲ参照スヘシ
四 教授ニ當リ物理學ノ應用ニ關スル知識ヲ與フルニ注意スヘシ

實驗

第三學年約三十回 毎回二時間

- 一 實驗者ノ注意スヘキ事項
器械ノ取扱 實驗ノ仕方 誤差 數ノ計算 計算尺
- 二 物體ノ大サノ測定
長サ 幅 厚サ 面積 球面半徑
- 三 天秤使用法
- 四 彈性率、剛性率ノ測定
- 五 比重ノ測定

- 五 固體 液體
- 六 表面張力ノ測定
せんまい秤 毛細管
- 七 液體ノ粘性係數ノ測定
- 八 振子ニ依ル重力ノ測定
- 九 寒暖計
定點ノ決定
- 一〇 熱膨脹係數ノ測定
固體 液體
- 一一 比熱
固體 液體
- 一二 大氣ノ壓力ノ測定
- 一三 濕度ノ測定

- 一四 くんとノ實驗
- 一五 音叉ノ振動數ノ測定
圖示法 共鳴法

- 一六 光度ノ測定
- 一七 れんすノ焦點距離ノ測定
- 一八 望遠鏡、顯微鏡ノ倍率ノ測定
- 一九 分光計
ぶりすむノ角 ぶりすむノ屈折率 液體ノ屈折率 すべくとる

- 二〇 光ノ波長ノ測定
- 二一 砂糖計
- 二二 鐵ノ磁氣測定
磁氣ノ強サ 殘留磁氣 耐久磁石ノ強サ
- 二三 地磁氣ノ測定

二四 放電法ニ依ル電氣容量ノ測定

二五 電流計ノ恒數ノ測定

あんべあめーとる がるばのめーとる

二六 電氣抵抗ノ測定

固體 液體

二七 ぼてんしおめーとる法ニ依ル電池ノ動電力ノ測定

二八 熱電對

二九 じゅーる熱ニ依ル熱ノ仕事當量ノ測定

三〇 交流ニ關スル實驗

備考

一 實驗ハ教室備附ノ器械及實驗進行ノ程度ヲ考ヘ適宜取捨シテ之ヲ授ク

ヘシ

8 化學教授要目

(昭和二年 文部省訓令第四號)

第二學年第三學年通計約百八十時間

總論(約四十五時間)

一 緒論

二 元素 化合物

三 化學量論ニ關スル諸定律

四 原子說 分子說

五 元素ノ週期律

六 原子構造概說

七 氣態

氣體ノ定律 狀態方程式 分子量ノ決定 氣體分子運動說

八 液態

九 固態

結晶 原子熱 同形ノ定律

- 一〇 状態ノ變化
 - 一成分系ノ多相平衡
- 一一 混合氣體
- 一二 稀薄溶液
 - 滲透壓及關聯事項
- 一三 化學反應速度 化學平衡
 - 可逆及不可逆反應 質量作用ノ定律 化學反應速度 接觸作用 化學平衡
- 一四 電解質ノ水溶液
 - 電離說 ふあらでーノ定律 電解傳導 電離ノ平衡(中和 加水解離 溶解積等)
- 一五 多成分系ノ多相平衡
 - 氣相ト液相(へんりーノ定律 分溜等) 氣相ト固相(熱離 風解等)

- 一六 膠質
 - 彌散 透析 そる及げる 吸着
- 一七 熱化學
 - 實熱量 熱化學方程式 へつすノ定律 生成熱 反應熱等
- 一八 電氣化學
 - 電離溶壓 單極電位差 可逆及不可逆電池 蓄電池 濃淡電池 電解
- 一九 光化學
 - 光化學反應 發光現象 すべくとる分析
- 二〇 無機化學(約六十時間)
 - 一 水素及其ノ化合物
 - 二 はろげん族元素及其ノ化合物

- 三 酸素族元素及其ノ化合物
- 四 窒素族元素及其ノ化合物
- 五 炭素、珪素及其ノ化合物
- 六 硼素及其ノ化合物
- 七 金屬元素總論
- 八 あるかり金屬及其ノ化合物 あむもにうむ化合物
- 九 銅族元素及其ノ化合物
- 一〇 まぐねしうむ、あるかり土金屬及其ノ化合物
- 一一 亜鉛族元素及其ノ化合物
- 一二 あるみにうむ及其ノ化合物
- 一三 稀土類元素概説
- 一四 錫、鉛及其ノ化合物
- 一五 蒼鉛及其ノ化合物

- 一六 くろむ族元素及其ノ化合物
- 一七 まんがん及其ノ化合物
- 一八 鐵族元素及其ノ化合物
- 一九 白金族元素及其ノ化合物
- 二〇 錯化合物概説
- 二一 稀有金屬概説
- 二二 稀有氣體概説
- 二三 放射性元素概説

有機化學(約七十五時間)

緒論

- 一 有機化合物ト無機化合物
- 二 有機化合物ノ分離、精製、分析
- 三 化學式 構造式

- 三 錯式化合物
- 四 脂肪屬炭化水素
 - 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 石油
- 五 炭化水素ノはろげん置換體
- 六 飽和一價あるこほる
- 七 えーてる 無機酸ノえすてる
- 八 種々ノ元素ノあるきる化合物
 - あみん ふおすふいん かこぢる ぐりにある試薬等
- 九 あるでひご けどん
- 一〇 飽和一かるばん酸
- 一一 かるばん酸ノ誘導體
 - えすてる鹽化物 無水物 あみご にとりる等
- 一二 不飽和あるこほる及不飽和酸

- 一三 多價あるこほる
 - ぐりこる ぐりせりん 脂肪 りぼいご等
- 一四 多かるばん酸
- 一五 はろげの酸 おきし酸 けど酸
- 一六 立體化學
- 一七 單糖類 多糖類 配糖體
- 一八 しあん化合物及炭酸ノ誘導體
 - 環式化合物
- 一九 芳香屬炭化水素 こーるたーる
- 二〇 はろげん置換體
- 二一 にごろ、あみの、あぞ及ぢあぞ化合物
- 二二 するふおん酸等
- 二三 ふえのる 多價ふえのる きのん

- 二四 あるでひご けとん
- 二五 かるばん酸 おきしかるばん酸
- 二六 染料
- 二七 なふたれん あんとらせん ありざりん等
- 二八 ひごろ芳香属化合物
てるべん 樟腦 ごむ等
- 二九 複素環式化合物
びりちん びろん ふらん ちおふえん びろる等
- 三〇 きのりん いそきのりん等
- 三一 いんごる べんぞびろん等
- 三二 尿酸 かふえいん等
- 三三 あるかろいご
- 三四 あみの酸 ぼりべぶちご 蛋白質

三五 生物體中ニアル他ノ化合物

葉綠素 酵素 ぐいたみん等

備考

- 一 此ノ要目ハ化學ノ教授上準據スヘキ主ナル教材ヲ擧ケタルモノナリ
 - 二 教授ニ當リテ教材ノ排列ハ必スシモ本要目ノ順序ニ從フヲ要セス又總論中ノ事項ハ無機化學、有機化學中ニ適宜按排シテ授クルヲ妨ケス
 - 三 教授ニ當リ製造工業、自然現象ノ化學的説明等化學ノ應用ニ關スル知識ヲ與フルニ注意スヘシ
 - 四 化學ト物理學トノ兩方ニ密接ノ關係アル事項ハ重複ヲ避クヘシ
- 實驗
- 第三學年約三十回 毎回二時間
- 一 實驗臺ノ整理 洗壘ノ組立(一回)
 - 二 簡單ナル無機化學實驗 普通ノ金屬ノ反應 普通ノ酸ノ反應(十二回)

三 定性分析 (十二回)

普通ノ金屬ノ檢出 普通ノ酸ノ檢出 未知物ノ識別

四 容量分析 (三回)

五 簡單ナル有機化學實驗 (二回)

備考

一 授業ニ當リテハ必スシモ本要目ノ順序ニ從フヲ要セス又無機化學實

驗、有機化學實驗等ヲ分析實驗中ニ適宜安排シテ課スルヲ妨ケス

二 實驗ニ際シ器具機械類ノ正當ナル使用法ヲ會得セシムルニ注意スヘシ

三 分析事項ヲ課スルニ當リテハ反應ノ本質ヲ理解セシメ以テ機械的ニ操

作スルノミナル弊ニ陥ラサシムルコトヲ期スヘシ

9 自然科學教授要目

(大正十一年二月
文部省訓令第一號)

第一學年 (生物及地質) (約六十時間)

一 自然科學ノ意義

二 生物ト無生物、動物ト植物

三 生物ノ起源

四 生物體ノ構造 (細胞、組織、器官、器官系)、生物ノ高等下等

五 生物分類學ノ概念

六 生理作用一般 (榮養、呼吸、排泄、酵素、毒素、反毒素、免疫、內分泌、

刺戟、趨向性等)

七 生殖作用 (生殖細胞、無性生殖、有性生殖、性ノ決定)、雌雄ノ分化

八 生物ノ個體發生及成熟期

九 生物ノ壽命ト死

一〇 變異及遺傳 (遺傳現象、純系及雜系、實驗遺傳學、遺傳法則、遺傳物質ト

細胞)

一一 品種改良、優生學

一二 生物ト環境 (生物相互ノ關係、生物ノ生態的及地理的分布)

- 二三 生物ノ進化及進化説
- 二四 動物ノ智能ト發達
- 二五 人類ノ起源及發達
- 二六 人類ト他ノ生物トノ關係
- 二七 太陽系及其ノ一員トシテノ地球、太陽系生成ニ關スル學説
- 二八 地球ノ現今ノ狀態(氣圈、水圈、岩石圈、重圈)、重圈ニ關スル學説
- 一九 地殼ノ構造(水成岩、火成岩、變成岩ノ成因、特性及現出狀態、主ナル岩石ノ實例、岩漿分化ノ現象)
- 二〇 地殼ノ變動(內因的及外因的地質作用)
- 二一 地史學概論(前かむぶりあ時代附あるごんきあ時代ノ生物、古生代、中生代及新生代ト各時代ノ生物)
- 二二 人類ト礦物界トノ關係
- 二三 概 括

備考

本要目ハ自然科学ノ教授上主トシテ準據スヘキ生物及地質ニ關スル主ナル教材ヲ舉ケタルモノナリ但シ教材ノ選擇及排列ハ必スシモ之ニ據ルヲ要セス殊ニ本要目ニハ生物ニ關スル事項ト地質ニ關スル事項トハ其ノ授業擔任者ヲ異ニスル場合ヲ考慮シ地質ニ關スル教材ヲ終リニ纏メテ配置シタレトモ同一教員ニテ全部ヲ受持ツ場合ニハ地質ニ關スル教材ヲ其ノ生物ニ關スル教材トノ關係ヲ參酌シテ適宜分配シ教材排列順ノ統一ヲ圖ルモ可ナリ

第二學年(物理及化學)(約九十時間)

物理

- 一 自然科学ニ於ケル物理學ノ位置
- 二 物理學ノ分類ト其ノ概要
- 三 定律ト假設
- 四 ニュートンノ運動ノ定律並其ノ論據

- 五 萬有引力ノ定律並其ノ論據
- 六 時間及時刻
- 七 天體現象
- 八 えねるぎ
- 九 熱力學ノ大要
- 一〇 分子運動說
- 一一 波動
- 一二 光學ノ大要(反射、屈折、光ノ速度、干涉、偏光、すべくとる、輻射、吸收、廻折等)
- 一三 磁氣及靜電氣
- 一四 電流(抵抗、熱作用、磁氣作用、機械的作用、電磁感應、直流並交流等)
- 一五 電氣振動、電磁波

- 一六 光ノ理論ノ變遷
 - 一七 氣體ノ電氣傳導、真空放電(陰極線、X線等)
 - 一八 電子論
 - 一九 放射能
 - 二〇 量子論
 - 二一 自然ノ連續性及不連續性
 - 二二 自然界ニ於ケル週期性
 - 二三 自然現象ノ可逆及不可逆
 - 二四 相對論
- 化學
- 一 自然化學ニ於ケル化學ノ位置
 - 二 物質ノ純非
 - 三 元素ト化合物、化學量論ノ諸定律

- 四 分子説、原子説、其ノ論據
- 五 化學記號、化學方程式、原子價、構造式
- 六 炭素ノ化學
- 七 熱化學（反應熱、發熱反應、吸熱反應等）
- 八 可逆反應ト不可逆反應、化學平衡
- 九 活動量ノ定律、フアントフ及ルシヤテリエノ原理
- 一〇 反應速度論、觸媒
- 一一 主ナル金屬ノ化學
- 一二 合金
- 一三 溶液、滲透壓
- 一四 電氣化學（電解傳導、電池等）
- 一五 分析化學ノ大要
- 一六 膠質化學

- 一七 大氣
- 一八 燃燒、燃料
- 一九 化學工業ノ原料ト製品
- 二〇 油脂、炭水化物、醱酵
- 二一 蛋白質、榮養品、嗜好品
- 二二 飲料水、用水
- 二三、呼吸及消化ノ化學

備考

- 一 此要目ハ自然化學ノ教授上主トシテ準據スヘキ物理及化學ニ關スル主ナル教材ヲ舉ケタルモノナリ但シ教材ノ選擇及排列ハ必スシモ之ニ據ルヲ要セス
- 二 物理ト化學トノ授業時數ハ略同一トシ適宜増減スルヲ得ルモノトス
- 三 此ノ要目ハ現行中學校教授要目ニ據リ第四學年ヲ修了シタル者ヲ標準

トシテ作成セリ

10 圖書教授要目 (大正十三年三月 文部省訓令第二號)

第一學年(約六十時間)

自在書

鉛筆書、木炭書、水彩書等

幾何書

一 概 說

製圖ニ關スル一般ノ注意

製圖用器具ノ檢査、修理及使用方法

尺度(普通尺、斜線尺、遊尺等)

二 平面幾何書

圓錐曲線

高等曲線

第二學年(約六十時間)

三 立體幾何書

正投象圖

點、線、平面、平面圖形、立體、曲面、切面、截斷、展開、相貫體

第三學年(約六十時間)

正投象圖

陰 影

附 等角投象圖、平面投象圖

斜投象圖

透視圖

備 考

一 此ノ要目ノ外計算尺使用法、圖式計算法、工學製圖ヲ課スルコトヲ得

二 此ノ要目ニ舉ケタル教材ノ取捨排列ニ就キテハ多少ノ斟酌ヲ加フルコ

- トヲ得
- 三 第一學年ノ自在書ト幾何書トノ授業時數ハ略同一トス但シ事情ニ依リ増減スルコトヲ得

11 地理教授要目(約六十時間) (昭和三年三月 文部省訓令第四號)

教授方針

地表ニ於ケル人類ノ種族的經濟的政治的活動ト地理的自然環境トノ密接ナル關係ヲ説明シ、現代ニ於ケル世界ノ重要ナル諸國ノ情況ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

教授要目

- 一 地理學ノ意義及分類
- 二 自然環境ト人生
氣候、地形及其ノ他ノ自然環境ト人生トノ關係
- 三 世界ノ種族
種族別竝其ノ分布

四 人口

人口ノ密度、増減、分布、移民及植民等

五 村落及都市

其ノ種類、形成、大小、盛衰竝分布

六 原料生産業及其ノ資源

農業、林業、牧畜業、水産業、鑛業ノ地理的分布、生産ノ狀態

七 工業

原料、動力等ト工業トノ地理的關係

八 商業

商業特ニ貿易ノ發達ト其ノ地理的環境

九 交通

世界ニ於ケル主要ナル鐵道、航路、航空路及通信網等

一〇 國家

國家、國民及民族

一一 領土

領土及其ノ種類、國境問題

一二 國際聯盟

國際聯盟ノ管理地及保護地、國際河川、委任統治、民族保護

一三 主要諸國ノ現狀

支那、インド、オランダ領東インド、イギリス、ドイツ、フランス、イ
タリヤ、ソヴェエト聯邦、アメリカ合衆國、カナダ、ブラジル、アルゼ
ンチン、オーストラリヤ等

一四 世界ニ於ケル日本ノ地位

備考

本要目中ノ事項ニ就キテハ適宜其ノ順序ヲ變更シ又ハ取捨スルヲ妨ケス

12 心理及論理教授要目

(昭和三年三月
文部省訓令第四號)

心理 (約六十時間)

一 心理學ノ對象、方法、部門

二 精神作用ノ生理的基礎

三 意識、無意識、行動

四 感覺、視覺、聽覺、味覺、嗅覺、皮膚感覺、有機感覺、平衡感覺、運動感
覺等、感覺ト刺激トノ關係、うへーべるノ法則

五 知覺、空間知覺、時間知覺等、錯覺、幻覺

六 注意

七 表象、聯合、記憶、學習、忘却、供述

八 想像、思考、概念、判斷、推理、思考ト言語トノ關係

九 感情、情緒、情操、表出、じえーむす・らんげ説

一〇 本能、衝動、意志、練習、疲勞

一一 人格、自我、個性、素質

二二 個人ト社會トノ關係

備考

- 一 本要目ハ文科ト理科トニ依リ多少内容ヲ加減シ得ルコト 特ニ理科ニアリテハ論理的事項ヲ適宜ニ加ヘ得ルコト
 - 二 發達の、社會的及變態的方面ノ知識ヲ適當ニ加フルコト
 - 三 教授ニ際シテハ適宜供覽及實驗ヲ用フルコト
 - 四 各項ノ排列及分合ハ必スシモ本要目ニ據ルヲ要セサルコト
- 論。理。(約六十時間)

教授方針

從來ノ形式論理學ノ組織ト近時ノ諸說ノ大要トヲ敘述シ、其ノ間常ニ其ノ講義ノ體系的構造ニ留意シ、以テ思想齊整ノ訓練トナラシメ、併セテ一般學術ノ研究ニ於ケル實用ノ點ヲ顧慮シ、且ツ其ノ文化ニ於ケル意義ヲ説明スルコト

教授要目

- 一 論理學ノ概念
- 二 論理學ト他學トノ關係
- 三 論理學ノ價值及機能
- 四 論理學ノ沿革及現代論理學ノ諸傾向
- 五 論理學ノ基本原理
- 六 概念ノ本質、構成及發達
- 七 概念ノ内包及外延
- 八 概念ノ種類
- 九 範疇
- 一〇 判斷ノ本質及構成
- 一一 判斷ノ種類
- 一二 主概念ト賓概念トノ包攝關係

- 一三 推理ノ本質及種類(直接及間接)
- 一四 直接推理(判斷ノ對當及變形等)
- 一五 間接推理ノ原理及種類(定言的、假言的、選言的)
- 一六 定言的推論式(規則、格及式)
- 一七 假言的推論式
- 一八 選言的推論式
- 一九 兩刀論法
- 二〇 推論式ノ省略及複合諸形
- 二一 推論式ノ價值
- 二二 演繹推理、歸納推理、類比推理
- 二三 推理ノ誤謬及虛偽
- 二四 方法論ノ意義及區分(探求的及統整的研究法)

- 二五 研究法一般(分析及綜合、記述及說明等)
- 二六 演繹法ト歸納法
- 二七 因果律ト自然法則
- 二八 觀察ト實驗
- 二九 歸納的方法
- 三〇 確率及統計
- 三一 憶說及檢證
- 三二 定義
- 三三 分類
- 三四 論證
- 三五 方法上ノ誤謬

三六 科學ノ體系

備考

- 一 本要目ハ論理學教授上主トシテ準據スヘキ教材ヲ舉ケタルモノニシテ其ノ選擇及排列ハ必スシモ之ニ依ルヲ要セス
- 二 思考練習ノ手段トシテ隨時間題ヲ課スルコトヲ要ス
- 三 方法論ノ教授ニ際シテハ特ニ文化的諸學科ノ研究法ニ注意スルコトヲ可トス

四 要目中他ノ學科(哲學概説、心理學、自然科學、數學等)ト重複スルモノハ適宜ニ省略スルコトヲ得

13 學校教練教授要目

(大正十四年四月文部省訓令第六號、大正十五年七月文部省訓令第二十五號ヲ以テ改正)

學校ニ於ケル教練ノ實施ニ關シ左ノ通教練教授要目ヲ定ム

陸軍現役將校ノ配屬ヲ受ケテ教練ヲ行フ學校ニ在リテハ本教授要目ニ依リ教練ヲ行フヘシ之カ監督ノ衝ニ當ル者ハ宜シク本教授要目ノ示ス所ニ依リ土地ノ情況ト學生

生徒ノ心身ノ發達トニ鑑ミ各適切ナル教程ヲ定メ以テ教練實施ノ本旨ヲ貫徹セシムコトヲ期スヘシ

高等學校

左記ノ教材ヲ適宜配當シテ之ヲ實施スヘシ

各個、部隊教練

射 擊

指 揮 法

陣 中 勤 務

軍 事 講 話

備考

- 一 高等學校尋常科ニ於ケル教練ハ中學校ニ於ケル教練ニ準ス
- 二 師範學校、中學校及實業學校ニ於ケル既習事項ニ習熟セシメ特ニ指揮法ノ程度ヲ向上セシムヘシ

- 三 部隊教練ニ於テハ簡易ナル大隊教練ヲ行フコトヲ得
- 四 射撃ニ於テハ毎年二回以上狹窄射撃ヲ行ヒ尙設備ノ許ス場合ニ於テハ一回以上實包射撃ヲ行フヘシ
- 五 軍事講話ニ於テハ外國軍制要綱竝諸兵聯合部隊運用ノ初歩ヲモス教授ヘシ
- 六 専門學校ニ於テハ其ノ種類ニ依リ當該學科ニ適應スル事項ヲ以テ前掲ノ教材ノ一部ニ代フルコトヲ得
- 七 軍事ニ關スル諸設備各種演習ノ見學ハ適宜之ヲ行フヘシ

職員

學校長

教授

(昭和三年八月一日現在)

英語	文學士	皆川正禧
物理、力學	文學士	四野宮豊治
國語	文學士	栗原武一郎
地理、歴史	生徒監 文學士	西川五郎
修身	文學士	岡村喜代志
獨身	文學士	山田伊三郎
歴史	文學士	今村孝三
英語	(在外研究中) 文學士	吉田良次
植物、自然科學	バナエラーオブアーツ	野原茂六

文學士

松村

傳

文學士

皆川

正禧

理學士

四野宮

豊治

文學士

栗原武

一郎

生徒監

西川

五郎

文學士

岡村喜

代志

文學士

山田伊

三郎

文學士

今村孝

三

(在外研究中)

文學士

吉田良

次

バナエラーオブアーツ

野原茂

六

獨語	獨語	哲學、獨語	化學	獨語	數學	心理、論理	數學	英語	動物、自然科學	漢文	英語	英語
文士	文士	生徒監 文士	理士	(在外研究中) 文士	理士	文士	理士	文士	理士	文士	文士	文士
莊直	小川	市野澤寅雄	倉橋治助	德澤得二	相馬良馬	小野島右左雄	內藤珍麿	長谷川四郎	菊池	島野誠一郎	佐藤省吾	久保謙

國語	獨語	物理、自然科學	法制及經濟	歷史	配屬將校	體操	體操	化學、物理	獨語	英語
文士	文士	理士	法士	文士	陸軍歩兵中佐				備外國人教師	文士
中村巳喜夫	大久保進一	佐藤瑞穂	吉野惺	仲榮太郎	片山理一郎	本間七郎	上原覺		クルト、バイヤー	エル、アイ、シー、トーマス

講師、囑託 (就職順)

地質及鑛物	野村正雄
劍道	富樫鐵次郎
柔道	岡野源次郎
體操	陸軍歩兵少佐 青山億一
圖書	池田嘉吉
體操	中村誠之進
漢文	文學士 藤澤誠
體操	檜崎正雄
書記	岡本耀
	樋口由之助
	横地恭二郎

事務囑託 (就職順)

入佐文夫
高山常雄
大内義平
埴藤吉三
三村九舉知
長山辰美
永藤新吉
朝野虎治
大岩外誠
齋藤卯内

物理教室詰
化學教室詰
博物教室詰

助手

博物教室誌
心理教室誌

學校醫

埴鐵雄
川上千代松

學級主任

千葉醫學士

大津寅

文科第三學年甲ノ一學級
文科第三學年甲ノ二學級
文科第三學年乙學級
理科第三學年甲學級
理科第三學年乙學級
文科第二學年甲ノ一學級
文科第二學年甲ノ二學級
文科第二學年乙學級

教授 皆川正禧
教授 栗原武一郎
教授 西川五郎
教授 內藤珍麿
教授 倉橋治助
教授 久保謙
教授 島野誠一郎
教授 佐藤省吾

理科第二學年甲學級
理科第二學年乙學級
文科第一學年甲ノ一學級
文科第一學年甲ノ二學級
文科第一學年乙學級
理科第一學年甲學級
理科第一學年乙學級
教務課
課長

教授 佐藤瑞穂
教授 野原茂六
教授 今村孝三
教授 小川泰
教授 莊直一
教授 相馬良馬
教授 菊池一
教授 四野宮豐治
教授 中村巳喜夫
書記 入佐文夫
囑託 大內義平
雇 永藤新吉

(兼)

(兼)

課長

訓務課

教授 西川 五郎

教授 市野 澤寅雄

助教授 本間 七郎

講師 中村 誠之進

書記 入佐 文夫

囑託 高山 常雄

囑託 埴藤 吉三

雇 長山 辰美

雇 永藤 新吉

教授 栗原 武一郎

囑託 埴藤 吉三

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

雇 長山 辰美

教授 岡村 喜代志

書記 樋口 由之助

雇 三村 舉知

庶務課

(兼)

課長

...

...

...

...

...

...

會計課

(兼)

課長

物品會計官吏

書記 岡本 耀

書記 横地 恭二郎

書記 入佐 文夫

雇 三村 舉知

雇 長山 辰美

生徒

(五十音順)

(昭和三年六月一日現在)

氏名ノ上段ハ出身學校名下段ハ本籍府縣名ノ略稱
◎印ハ學級總代○印ハ副總代

文科第三學年甲ノ一學級

(三十八名)

東京第四	淺井孝三郎	東京	宇都宮	加藤充	栃木
栗鴨	安藤信夫	茨城	熱田	兼岩誠二	愛知
大田原	飯沼馨	栃木	安房	金田二郎	千葉
安積	今泉兼寛	福島	第一鹿兒島	神戸政彌	宮崎
仙臺第二	内ヶ崎宏二郎	宮城	東京高師附屬	北川秀隆	熊本
宇都宮	小野幸四郎	栃木	水戸	栗田久成	茨城
水戸	大友彌之助	茨城	水戸	郡司好夫	茨城
大泊	岡井美夫	山形	小田原	小島芳藏	神奈川
水戸	折原徹	茨城	京華	小松崎忠雄	東京

龍ヶ崎	酒井益勇	茨城
佐野	重久孝男	鹿兒島
白石	須永重光	宮城
仙臺第一	瀬崎敬太郎	宮城
太田	田所榮	茨城
麻布	田中英治	東京
東京第一◎	高羽信雄	東京
小田原	露木憲治	神奈川
眞調	中澤喜志男	茨城
字都宮	中山金四郎	栃木

文科第三學年甲ノ二學級 (三十九名)

東京第四 秋上 勳 東京

東京第四	西村基一	東京
字都宮	野中章	栃木
水戸	野村久	茨城
聖學院	林卓郎	福島
開成	藤井信	千葉
成蹊◎	松平一郎	東京
東京高師附屬	宮川伊與雄	熊本
烏山	持丸理喜男	茨城
烏取育英中	安井勝太郎	群馬
函館	四ッ柳高茂	北海道

眞調◎秋 澤健 栃木

京華	淺田隆一	香川
東京第四	伊藤良香	岐阜
佐原	伊能源太郎	千葉
北野	石崎米三	大阪
靜岡	磯武夫	栃木
下妻	稻葉信之	茨城
東京第一	岩島宗久	長崎
明治	氏原清	東京
東京第五	太田政明	山形
水戸	大和田秀雄	茨城
磐城	岡部史郎	茨城
柏原	片山秀夫	兵庫
前橋◎	兼田萬吉	群馬

安積	菅野修助	福島
麻布	菊谷勇夫	兵庫
諏訪	北原軍治	長野
水戸	小岩井正臣	茨城
上田	小林健道	長野
太田	五來重	茨城
日本	坂本坦二	東京
磐城	澤田隆義	福島
榊太	白井甚逸	北海道
早稲田	杉榮	東京
佐倉	鈴木英	千葉
岐阜	關屋健太郎	岐阜
水戸	田山孝雄	茨城

東京第一	中川哲郎	新潟	東京第一	三田正夫	東京
磐城	中野大次郎	福島	岐阜	村瀬邦比古	岐阜
群馬太田	長濱治久	群馬	土浦	八木下繁一	茨城
岸和田	沼野明四	大阪	開成	安田諦	東京
東京第四	林清	北海道	水戸	渡邊清	茨城
明治	藤田博義	東京			
文科第三學年乙學級					
東京第一	相場眞五	栃木	宇治山田	今村政雄	三重
宇都宮	新江昇	栃木	水海道	岩田正夫	茨城
宇都宮(檢定)	五十崎英行	愛媛	喜多方	鶴名山治朗	福島
日本大學中	伊藤喜代治	岐阜	豐山	浦島重平	埼玉
東京第四	今井武臣	愛知	高輪	榎本敏	神奈川

(四十一名)

御井	小野島敏樹	山口	青山學院	諏訪一郎	福島
土浦	菊池健一郎	茨城	宇都宮	菅谷恒徳	栃木
水戸	來栖清	茨城	水戸	田村積善	茨城
水戸	小室隆吉	茨城	東北學院	高橋萬五郎	宮城
盛岡	佐藤俐	岩手	安房	寺澤修	千葉
札幌第二	佐藤長和	茨城	開成	中西文雄	東京
郁文館	佐原正樹	廣島	東京第二商業	中村辰五郎	東京
岡崎	齋藤元一郎	東京	千葉	新山義雄	茨城
室蘭	坂本義照	廣島	長野	野村章	長野
成城	櫻井弘	茨城	下妻	濱名静雄	茨城
順天	鹽谷次郎	鳥取	水戸	堀川充治	茨城
水戸	島田力	茨城	佐原	前野敏夫	茨城
高千穂	白石五郎	山口	沼津	眞覺正慶	静岡

佐野 松本彦三郎 栃木
 東京第二 南新治 東京
 麻布 米川榮秋 茨城

理科第三學年甲學級

(四十名)

成東 伊藤孝男 千葉
 木更津 岩崎宏 千葉
 靜岡 岩間武司 靜岡
 水戸 小貫道也 茨城
 水戸 大久保隆治 茨城
 前橋 岡本東一郎 群馬
 伊那 河野政治 長野
 開成 神谷金藏 茨城

早稻田 安井四郎 宮崎
 海城 渡部正三 秋田

東京第三 木下武昌 福岡
 下妻 木村信次郎 茨城
 松都高普 金應漢 朝鮮
 字都宮 小林武雄 栃木
 京華 後藤正勝 靜岡
 水戸 佐藤忠雄 茨城
 土浦 佐藤勇吉 茨城
 水戸 齋藤國三郎 茨城

開成 柴田勝一 東京
 水戸 杉浦助直 茨城
 小田原 杉坂啓義 神奈川
 京北 關屋博 岐阜
 水戸 高橋寛二郎 茨城
 横濱第一 高橋享一 新潟
 甲陽 高橋徳之助 廣島
 東京第四 高見清 東京
 錦城 塚本清之助 東京
 佐倉 豊田榮三 千葉
 水戸 根本美明 茨城
 相馬 福原正 福島
 磐城 本城武 福島

鳥山 本多勉三 栃木
 横濱第二 間宮保三 神奈川
 成田 三橋誠一 千葉
 大田原 三宅穰 栃木
 水戸 皆川正實 新潟
 東京第四 宮尾知男 東京
 福山 森谷東明 兵庫
 水戸 山住嘉宣 茨城
 東京高師附屬 吉武次郎 東京
 青森 渡邊修吉 青森
 下妻 渡邊宏太 茨城

理科第三學年乙學級

(三十八名)

早稻田	盛岡	東京第四	仙臺第一	金澤第一	臺北第一	開成	水戸	宮岡	磐城	水戸
小林艦一	菊池十郎	木田策郎	鎌田常郎	加藤清雄	大野量平	大串英夫	小宅任	小川三郎	小川清茂	秋永義七
埼玉	岩手	宮城	宮城	石川	愛媛	東京	茨城	福島	福島	茨城
水戸	水戸	名教	水戸	熊谷	水戸	成東	土浦	木更津	粕壁	高津
高安孝雄	高橋常二	高橋多聞	高木專一	田口實	關平吾	鈴木安衛	鈴木茂	坂田秀夫	齊藤道也	佐島秀夫
茨城	茨城	長野	茨城	埼玉	茨城	千葉	茨城	埼玉	埼玉	山形

文科第二學年甲ノ一學級

(四十名)

野澤	東京第五	盛岡	東京高師附屬	龍ヶ崎	東京第二
秋山晴夫	赤嶺茂	阿部啓次郎	德永幹雄	寺田寛	竹内孝
長野	熊本	岩手	岐阜	茨城	東京
水戸	桃山	磐城	高崎	千葉	高津
石川在弘	山諫山	秋山將義	飯田吉澤	逗子開成	平本義典
茨城	大阪	福島	和歌山	馬淵勝	廣島
			和歌山	牧野英武	東京
			和歌山	横須賀重信	茨城
			和歌山	吉澤正志	長野
			和歌山	米谷理平	岩手
			和歌山	渡邊源三	和歌山

熊谷	大澤敬三	埼玉
東京第一	大島富士夫	東京
安房農	○太田和哲	千葉
郁文館	大塚光雄	東京
京華	川浦誠	埼玉
水戸	川上慶武	岡山
開成	神田秀男	東京
開成	神立敏良	茨城
水戸	菊池嘉孝	茨城
東京高師附屬	越田淳	東京
芝	榊原一郎	東京
麻布	菅谷勇之助	東京
水海道	鈴木奎吾	茨城

飯山	關澤源太郎	長野
開成	關根禎三	東京
麻布	高瀬朔	群馬
京北	高橋六郎	群馬
太田	中郡貞彦	茨城
下妻	◎塚田毅	茨城
巢鴨	富山博	東京
水戸	根本武雄	茨城
東京第三	春田實	東京
東京第六	星合敏夫	三重
不動岡	松村文夫	埼玉
佐倉	宮崎牧男	千葉
荏原	村田義一	鹿兒島

鹿兒島第一	安樂武志	鹿兒島
竹田	伊藤直	大分
宇都宮	池田利雄	群馬
早稻田	猪俣精	茨城
東京第一	鶴川英福	東京
丸龜	大西銳作	香川
錦城	大野有芳	東京

文科第二學年甲ノ二學級

(四十一名)

龍ヶ崎	山崎幸夫	茨城
横濱第二	山下政利	宮崎
東京第四	吉弘鎮義	福岡
早稻田	吉村慶春	山口
水戸	○大橋吉久	茨城
専校檢試	岡野正隆	茨城
高輪	荻原一郎	神奈川
前橋	片桐勝司	群馬
第三神戶	金竹慶二	東京
宇都宮	倉井節	栃木
麻布	郡山千冬	東京

水戸	田崎慶男	茨城
佐野	田名綱宏	栃木
西條	高橋政二郎	京都
眞岡	高松棟一郎	栃木
松山	高本專之助	愛媛
水海道	中村勤	茨城
京都第一	難波隆	京都
水戸	濱田成治	茨城

理科第二學年甲學級

和歌山	石井義郎	和歌山
太田	石川龜太郎	茨城
甲府	石原左源太	山梨

粉河	平野順次	和歌山
巢鴨	平山長	島根
郡山	藤井隆一	奈良
東京第四	松井英一	東京
熊谷	松本常三	埼玉
東京高師附屬	望月衛	東京
水戸	米川健夫	茨城

(三十八名)

臺北第一	小川猛洋	福井
諏訪	小口宗三郎	長野
水戸	大川健	茨城

東京高師附屬	加藤孝治	東京
京華	賀屋郁雄	東京
水戸	金澤謙一	群馬
磐城	川瀬博三	新潟
宗像	木下利貞	福岡
野澤	北原敏	長野
磐城	草野織平	福島
水戸	熊野誠毅	山口
群馬太田	栗原韓次郎	群馬
室蘭	小林謹二	北海道
東京高師附屬	佐藤信吉郎	新潟
東京第四	佐藤正己	山形
水戸	篠原收二	山梨

磐城	須藤積彌	福島
沼津	鈴木元實	静岡
高千穂	高橋亮介	長野
東京第五	田中正夫	長野
足利	土屋金彌	栃木
横濱第二	土屋博	神奈川
函館	◎長岡清一郎	廣島
岡崎	西村米八	群馬
水戸	稗田治	茨城
甲府	藤平恒男	栃木
太田	益子正教	茨城
日本大學中學	三好晋	神奈川
京華	宮本藤雄	茨城

水	戶	山縣二郎	茨城
日	川	山本三郎	山梨
木	更津	吉田謙二	千葉

理科第二學年乙學級

(三十八名)

東京第一	足立英馬	東京
大成	稻葉文哉	山梨
足利	稻村實	栃木
岸和田	岩崎武一	大阪
鉢田	岩本恒治	茨城
太田	薄井丙午郎	茨城
下妻	太田宇一郎	茨城
安積	小倉賢一	福島

東京第四	吉田長之	東京
橫手	若林鐵生	秋田
磐城	渡邊三郎	福島
川越	金子力	埼玉
土浦	神立誠	茨城
佐野	川俣猪十郎	栃木
水戸	菊池桂助	茨城
水戸	栗原百壽	茨城
青山學院	小林潔	茨城
龍ヶ崎	小日向勇次	東京
東京第一	佐々木五九雄	愛媛

安積	齋藤琢磨	福島
佐野	齋藤恒	栃木
宇都宮	瀧田秀夫	栃木
大連第一	武田楠雄	茨城
東京第一〇塚	本初	静岡
芝	辻本賢之助	東京
成東	土屋豊	千葉
芝	外池良三	茨城
下妻	中山育四郎	茨城
豊橋	野澤嘉博	愛知
太田	長谷川安之助	栃木

橫濱第二	畑榮治	神奈川
水戸	埴清之助	茨城
土浦	廣瀬丈夫	茨城
眞岡	福田三男	栃木
三條	藤田實	新潟
豊岡	舟木文夫	兵庫
柏崎	森田忍	新潟
沼田	矢端秀男	群馬
東京第三	山田清	東京
豊岡	山田芳英	兵庫
李浴風		中華民國

文科第一學年甲ノ一學級

(四十一名)

湘南	東京第八	錦城	秋田	前橋	水戸	福知山商業	小田原	喜多方	白石	宇都宮	東京第六	湘南
伊藤七郎	井上清藏	大川梅太郎	大澤正	大澤保二郎	大友登美次郎	音羽弘一郎	香川恒雄	冠木四郎	菅野新次郎	菊地由次	北島正毅	齋藤松一朗
東京	東京	東京	秋田	群馬	茨城	京都	神奈川	福島	宮城	栃木	茨城	神奈川
東京第五	高知城東	東京高師附屬	開成	磐城	水戸	喜多方	安積	長崎	東京第五	佐原	佐野	東京第七
佐藤裕太郎	莊明夫	須賀一正	須賀利雄	鈴木直	高須忠彦	高畑襄	瀧田增朗	境原良雄	鶴見節馬	寺本實	中島竹郎	中村博正
東京	岡山	茨城	東京	福島	茨城	福島	福島	佐賀	東京	千葉	茨城	千葉

東京第六	熱田	安藝	東京第一	佐野	栃木	東京第六	栃木	水戸
長澤傑夫	◎長濱道夫	野町二	福本俊雄	福守豊吉	安達卯平	淺川武	淺田貞雄	有賀研一
福島	愛知	高知	東京	栃木	栃木	長野	東京	兵庫
東京第六	東京第一	麻布	津	和歌山	水海道	東京第四	足利	前橋
宮本武	吉井立一郎	吉田洋	今村勇二郎	浦久保博文	大島利一	大森直道	大此木真三郎	小淵松司
茨城	東京	東京	三重	和歌山	茨城	福井	栃木	群馬

文科第一學年乙學級

(三十九名)

開成	神山信三	東京	水戸	蒲生新之丞	茨城	水海道	栗原健男	茨城	水戸	鯉淵一郎	茨城	東京高師附屬	○西園寺不二男	東京	青山學院	齋藤平四郎	埼玉	横濱第一	阪田良樹	神奈川	佐沼	佐々木勝衛	宮城	麻布	佐藤碩苗	山梨	横濱第二	須藤節	神奈川	水戸	清宮進	千葉	旭川	前佛清	北清道	水戸	高辻博	石川
東京第一	武村次郎	東京	水戸	田中彰	千葉	臺南第一	千々和茂	福岡	古川	千葉宗一	宮城	水戸	飛田義男	茨城	磐城	◎中野喜一	福島	東京第八	西塚義高	三重	澁川	根澤二郎	千葉	盛岡	島秀四郎	岩手	東京第五	久留義恭	東京	高崎	福地恒男	茨城	旅順第一	藤井不二男	千葉	東京第一	山羽幸助	三重

千葉	吉岡英一	宮城	木更津	栗野誠一	茨城	市原	伊藤利夫	千葉	水戸	飯村丈夫	茨城	東京第五	磯部祝	東京	奉天	◎市來康雄	東京	太田	稻田浩三	茨城	日川	上野亮夫	山梨	野澤	上原要三郎	長野	水戸	江幡正道	茨城	朝倉	小園義雄	大分
東京第七	小柳東一郎	千葉	牛田	岡谷繁雄	東京	水戸	岡村健二	佐賀	京華	久保田威夫	千葉	東京第二	熊澤忠廣	東京	日本大學中	小島一郎	滋賀	千葉	古宮忠一	千葉	鎌田	佐伯一夫	茨城	水戸	瀨尾一久	茨城	諏訪	關義茂	長野			

理科第一學年甲學級

(四十一名)

東京第一	田澤	佐愛知
熊谷	高荷昭重	埼玉
姫路○	高橋菊夫	長野
東京第六	武一大	福島
芝	田中聖賢	千葉
臺中第二	土屋精之	山口
麻布	野村幸雄	東京
第三神戸	橋寺六郎	兵庫
水戸	塙要	茨城
第一東京	春城清之助	京都
横濱第一	松下英夫	秋田

理科第一學年乙學級

東京第五	松本義雄	東京
水戸	宮城清武	茨城
麻布	三宅良一	北海道
豆陽	三輪謙策	静岡
栃木	森島春男	栃木
麻布	山科義彦	東京
芝	山田良行	和歌山
沼津	鍵田四郎	静岡
水戸	横須賀孝	茨城
	高明	中華氏

(四十一名)

佐野	秋山仁爾	栃木
佐原	伊能茂次	千葉
麻布	稻田武夫	東京
大連商業	稻葉越三	兵庫
巢鴨	小尾雅夫	東京
水海道	大串茂	茨城
青山學院	大野能	静岡
東京第一	加藤慶男	東京
東京高師附屬	菊池武美	宮崎
東京第六	小島駒夫	東京
三條	近藤誠輔	新潟
開成	權守英夫	山梨
不動岡	島村信義	埼玉

東京第一	鈴木次郎	東京
太田	田崎敏郎	茨城
東京第四	高杉宏一	岡山
東京第五	武田強二	岐阜
飯肥	谷末八郎	宮崎
一關	千葉力雄	岩手
水戸	友常武雄	茨城
宇都宮	中山末男	栃木
水戸	仁平任	茨城
東京第七	西富士太郎	山口
土浦◎	根本雄三	茨城
會津	長谷川英夫	福島
龍ヶ崎○	張貝俊次	茨城

埼玉		新潟		兵庫					川神奈								
船川熊	壁越谷	柏三	計	甲	明	姫	洲	柏	豊	第	三	神	戸	運	子	開	成
一	一	一	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	九			
一	四	二	一	四						三	一			五			
一	一			二	一									六	一		
二	一	六	三	一	二	一	一	一	一	二	三	二		二	〇	一	
千葉				群馬					埼玉								
成長	安木	成佐	佐千	澁	沼	太	高	前	不	動	岡						
田生	房津	東倉	原葉	計					計					三	一		
一	一	一	一	二	二	五	二	一	二					六	一		
一	二	二	三	二	二	五		一	二	二				二			
一	一	三	四	五	三	五	四	一	三	二	一	二	三	五	一	二	

東京																
青山學院	名教	明治	成蹊	日本大學附屬	高千穂	聖學	高輪	芝	海城	荏原	豊山	京北	大成	京華	成城	麻布
二				一				三					一	一		八
三	一			一	一			一	三	二			一	一	三	四
一	一	二		一	一										三	一
六	一	三	一	三	二	一	二	六	一	二	一	二	二	七	一	一
川神奈	大阪			京都			東京									
湘南	小田	同第	橫濱第一	高津	岸和田	北野	福知山商業	桃山	京都第一	東京第二商業	巢鴨	明治學院				
二	二	二	三				一	一		六	六	一				
	三	二		一	一		二	一	一	五	六	二	一			
	三	一	一	四	二	一				五	七	一	一			
二	五	六	六	五	二	二	一	三	一	一	一	一	一	四	一	

東	經	東	法	法	東	法	文
一柳	平野	福田	間野	松崎	松本	安島	秋永
綠	博	稔	太郎	靜男	秀彦	三郎	英七
兵庫	木	城	岡	茨城	福井	茨城	茨城

文科乙類

經	經	法	經	東	法	東	法
黛	持丸	矢口	吉久保	渡邊	狩谷	小泉	座間
造	丈夫	順道	恆之助	虎吉	幸知	彌六	策郎
東京	神奈川	神奈川	茨城	秋田	茨城	千葉	千葉

(二十九名)

法	法	千	文	法	文	經	文	法	法
鈴木	瀨之口	高橋	瀧澤	千葉	土屋	長坂	中島	長谷川	廣部
長	虎男	德樹	俊郎	征露	千春	一	元德	信	忠彦
茨城	鹿兒島	福島	長野	神奈川	福岡	東京	群馬	青森	千葉

理科甲類

文	法	經	法	東	東	法	千	法	工
松井	宮崎	宮本	山口	山崎	山下	山中	吉原	渡邊	石井
史	俊夫	赴夫	米丸	昂	清	舜次	真	周	執三
静岡	茨城	千葉	神奈川	千葉	北海道	茨城	茨城	東京	茨城

(二十七名)

工	工	東	理	工	工	工	工	東	文	工	工	工
		工						農				
仲	照	塚	武	袖	須	佐	五	小	窪	岡	大	石
篤	井	原	田	山	藤	久	來	平	田	巖	瀧	塚
司	達	亮	悅	喜	利	間	達	孝	敏	一	讓	晴
	夫		次	久	一	友		雄	夫			美
			郎	雄		二						
埼	青	栃	神	茨	埼	千	茨	東	東	栃	新	茨
玉	森	木	奈	城	玉	葉	城	京	京	木	潟	城
			川									
理	工	工	工	農	九	工	工	工	工	理	工	理
					工							
渡	橫	山	山	柳	本	宮	松	堀	細	平	沼	
邊	須	口	口	田	山	地	葉	越	井	山	尻	
一	賀	敏	敏	貫	虎	武	盛	九	一	嵩	源	
郎	善	宗	宗	一	三	夫	重	一	一	一	一	
	司	江	江	郎	郎							
神	茨	東	茨	栃	長	東	埼	茨	東	東	茨	
奈	城	京	城	木	野	京	玉	城	京	京	城	
川												

東	醫	醫	醫	文	醫	農	醫
醫							
新	謝	島	佐	三	蒲	川	宇
藤	花	田	野	枝	生	井	野
六	昇	正	龍	義	義	實	留
郎	清	憲	雄	夫	男	實	吉
群	沖	栃	福	茨	東	東	茨
馬	繩	木	井	城	京	京	城
醫	醫	東	醫	醫	醫	醫	醫
		醫					
松	福	服	西	田	田	鈴	諏
井	島	部	郡	中	澤	木	訪
三	正	鐵	彦	久	信	重	敬
郎		雄	嗣		五	一	三
					郎		郎
山	群	東	千	群	茨	茨	千
口	馬	京	葉	馬	城	城	葉

大正十三年三月卒業
文科甲類

(六十七名)

(十六名)

法	文	經	法	文	千	經	經	法	經	法	經	法
					醫							
高橋一郎	高崎光久	田口茂雄	鈴木良一	清水二郎	坂本久雄	酒井義夫	齋藤長治	齋藤香一 <small>(萩原ト改正)</small>	佐藤勇	佐藤正一	鯉淵次夫	後藤正明
茨城	茨城	埼玉	千葉	東京	茨城	東京	東京	新潟	神奈川	茨城	茨城	茨城

法	經	經	經	經	法	法	死	經	法	經	經	法
							亡					
濱野一雄	長谷川知之助	長谷川恭三	橋爪恭一	萩原重雄	西村程作	中山好一	中野四郎	中島道雄	長澤通明	外池重輔	津田宣彦	谷澤信雄
兵庫	山梨	東京	三重	山梨	山口	茨城	千葉	熊本	静岡	茨城	山口	神奈川

法	法	經	東	法	東	法	法	法	經	經	法	
			文		經							
梅本健男	内田仙次	鶴澤司	上野恆彌	岩田吉博	岩田一	祝廷三郎	磯村茂	伊澤庚子郎	天野宗一	朝生要人	秋山準	赤城宗徳
奈良	栃木	東京	茨城	神奈川	茨城	鹿兒島	東京	栃木	東京	千葉	茨城	茨城

經	文	法	法	東	法	經	東	經	經	法	經	法
				文			法					
小村靖吉	小松崎寅雄	小林衛	久保田敏	菊池安郎	河田義郎	川崎千春	川口皓三郎	上加世田成法	改野五郎	大谷政雄	大竹寶	榎本勝造
神奈川	茨城	東京	千葉	福島	埼玉	東京	千葉	東京	兵庫	茨城	栃木	東京

法	東	法		東	東	法	法	東	法	東	法
	法			文	文			文		文	
薄	有	青		松	牧	星	法	藤	平	樋	林
井	光	木		本	野	野	華	井	野	口	不
巳	毅	四		稔	耐	秀	津	武	禎	重	二
亥		郎			一	雄	孝	夫	男	雄	雄
				兵	郎		太				
茨	高	東		庫		東	愛	岐	千	東	福
城	知	京			山	京	媛	阜	葉	京	島

文科乙類

法	東	法			法	經	經	東	經	經	經
	文				文			法			
大	尾	江			渡	若	和	山	矢	宮	宮
野	澤	幡			邊	松	田	田	野	本	川
政	良	寬			重	宗	壽	一	康	宣	歐
夫	彥	夫				一	次	一	夫	一	太
						郎	郎				郎
千	東	茨			千	東	東	茨	東	茨	熊
葉	京	城			葉	京	京	城	京	城	本

(三十六名)

法	法	經	法	文	經	文	京	東	經	文	法	東
							法	經				文
土	高	高	庄	澁	笹	佐	木	木	鎌	岡	岡	岡
屋	橋	橋	田	谷	島	伯	村	倉	田	部	部	田
一	陸	晃	順	準	政	義	誠	和	治	英	重	實
民	奧	一	一	藏	吉	明		一		四	信	
	雄							郎		郎		
千	青	宮	東	神	茨	富	福	千	千	栃	茨	神
葉	森	城	京	奈	城	山	岡	葉	葉	木	城	奈
				川								川

法	法	東	法	千	法	文	東	經	經	法	東	經
		法		醫			法				文	工
湯	山	山	黛	松	前	堀	林	長	野	成	中	寺
原	田	田	克	井	澤	內	房	谷	手	田	村	本
直	憲	郁	己	牧	秀	熊	吉	川	克	源	健	直
	太	夫		次	榮	男		則	郎	四	彦	吉
	郎							文		郎		
山	群	千	群	靜	福	山	千	山	茨	東	東	石
梨	馬	葉	馬	岡	岡	梨	葉	口	城	京	京	川

工	農	東	東	工	經	農	理	農	京	經
遠藤	岩崎	石井	池田	池澤	伊藤	荒井	赤堀	青木	若見	橫田
敏治	勝直	井坦	金三	保	正二	元	英三	勝治	一郎	憲喜
東京	東京	神奈川	茨城	兵庫	北海道	茨城	群馬	神奈川	長崎	愛知
東	農	工	東	東	農	東	東	東	法	法
中	立川	關根	隅田	鈴木	須崎	鹽原	神谷	大村	渡邊	脇田
西	辰之介	三郎	七郎	重大	進二	三郎	鍾吉	重光	存所	愛之助
篤	介	三郎	七郎	大	二	郎	吉	光	所	助
和歌山	茨城	埼玉	神奈川	東京	東京	群馬	茨城	東京	茨城	大阪

理科甲類

(二十七名)

醫	醫	醫	醫	京	醫	工	工	工	工
江尻	石島	飯野	井出	井出	猪狩	藤田	平野	檜山	羽賀
伊三郎	勝郎	鎮雄	與惣一	七郎	正雄	幸隆	生三郎	德次	正義
福島	茨城	東京	京都	静岡	福島	北海道	東京	茨城	新潟
東	東	東北	醫	工	工	工	工	東	工
木村	甲斐	岡部	大和田	大山	大柴	山崎	松本	松平	古谷
康一	孝助	次雄	信道	義年	俊一	久一	厚	日出男	寅雄
東京	福島	静岡	茨城	茨城	山梨	栃木	群馬	東京	東京

理科乙類

(三十七名)

大正十四年三月卒業

文科 甲類

東法	東文	東法	九法文	經	文	法	法	經	慈慶醫大
青木頼次	雨谷菊夫	伊村正祐	板倉公	一毛正捷	入江信三郎	上野春雄	枝吉卯之助	海老原登	遠藤恭介
東京	茨城	茨城	千葉	東京	栃木	東京	東京	茨城	長野

(六十三名)

經	法	文	經	法	法	東法	經	法	
小谷松三	大手參治郎	大場千秋	大町二郎	大森精	岡部檀	岡村周美	金成増彦	笠原昌滿	笠井壽太郎
東京	栃木	北海道	岡山	茨城	東京	和歌山	福島	神奈川	山梨

醫	東理	醫	醫	東醫	東醫	京農	醫	醫	千醫	醫		
高垣清藏	蘇記之	島崎松雄	笹屋次雄	酒井博夫	河野寛	兒玉元一	小林一二三	小玉清	小泉秀雄	倉田庫司	菊池昇	木村玄洋
東京	支那	東京	長崎	千葉	栃木	長野	東京	新潟	神奈川	千葉	茨城	新潟

東農	醫	東農	醫	醫	醫	農	東農	理	東北醫	醫	醫
横山不學	山口六郎	山形賀	安間國夫	森義雄	森英亮	三坂和英	深作英	原田五十吉	林正七	八田稠	野澤貞智
東京	茨城	茨城	神奈川	東京	栃木	東京	茨城	茨城	茨城	福岡	新潟

東	工	工	東	東	東	東	東	森
農			農	工	工	農	農	田
加	岡	岡	白	石	飯	飯	青	義
唐	本	部	井	黑	田	田	木	術
勝	正	一	宏	龍	廣	躬	連	三
三		雄	次	雄		男	次	重
東	埼	茨	茨	東	石	東	東	
京	玉	城	城	京	川	京	京	

理科甲類

工	東	東	東	京	東	東	東	東
	農	文	工	農	工	工	醫	工
杉	櫻	相	佐	小	小	黑	國	賀
田	井	良	野	島	島	河	井	田
辰	芳	守	鑑	新	新	內	正	終
男	人	次	之	吾	吾	秀	一	吉
				博	臣	臣	雄	
栃	三	山	岡	東	東	福	茨	山
木	重	形	山	京	京	島	城	口

(三十七名)

經	法	經	經	法	法	東	東	經	經	經	法	法
						經	文					
鈴	鈴	杉	杉	坂	坂	久	木	河	笠	岡	大	小
木	木	田	浦	本	間	保	下	村	川	崎	橋	幡
吉	太	秀	博	泰	孝	莊	勇	秀	金	英	勇	治
甫	郎	男		一	司	一		世	作	城	進	和
茨	東	神	愛	東	神	東	東	兵	神	宮	兵	千
城	京	奈	知	京	奈	京	京	庫	奈	城	庫	葉
		川			川				川			

東	法	經	東	東	法	京	文	法		東	法	法
文			經	法		經				法		
村	三	前	本	吉	比	比	芳	豐	富	塚	武	關
田	澤	島	間	田	佐	企	賀	田	茂	谷	田	英
英	清	正	一	巖	久	野	檀	利	山	精	宣	夫
彥	彥	道	郎		馬	義		美	一	一	彥	
						五						
東	長	東	茨	鳥	福	神	福	茨	栃	東	東	香
京	野	京	城	取	島	奈	井	城	木	京	京	川
						川						

東醫	東理	東醫	東北醫	慶應醫大	東工	新醫	東農	新醫	千醫	金醫	東工	新醫
草野與平	草間時定	黒澤辰男	小泉全道	酒井欣朗	篠原登	白石義男	須賀田謙次郎	菅又脩	田尻敢	田邊重樹	館内三郎	都築和雄
福島	東京	茨城	茨城	東京	山梨	茨城	茨城	栃木	東京	滋賀	東京	愛知
新醫	東醫	京醫	東工	金醫	東農	新醫	千醫	東文	理	新醫	九醫	東農
土屋久雄	角田種氏	滑川嘉一	西海芳郎	畑中彦三	濱田成義	半田國胤	福田金三郎	萬澤遼	望月勝海	谷島悟郎	山邊榮之助	湯川茂雄
静岡	茨城	茨城	神奈川	埼玉	茨城	栃木	栃木	熊本	静岡	茨城	福島	東京

東醫	東醫	東農	東農	東醫	工	東工	東工	東農	東文	千醫
大島光信	大島仁	星野武	平野貞	羽鳥庫次	中山三郎	中村清	鶴岡鶴吉	種子島秀彦	瀧本潔	高柳博明
茨城	千葉	茨城	岡山	栃木	神奈川	鹿兒島	千葉	茨城	茨城	福島
理科乙類	(三十名)	工	工	東農	東農	工	農	工	東理	東理
兼田三郎	大成龍雄	吉村辰夫	吉田至	湯原益治郎	柳下鋼造	柳川吾郎	的場慎一	松本喜太郎	間宮五一	間宮五一
青森	廣島	東京	長野	茨城	新潟	茨城	和歌山	三重	神奈川	神奈川

大正十五年三月卒業

文科甲類

(七十五名)

東	東	東	東	東	東	京	東	東
農	法	法	法	文	法	經	文	法
小畑年太郎	内田弘文	内田英二	岩佐英	市原泰二郎	石渡健吉	池田政彦	井田實	荒井正巳
東京	東京	茨城	山梨	千葉	神奈川	鹿見島	東京	福島

東	東	東	東	東	東	東北	東	東
經	法	經	法	經	經	法文	經	經
加藤雅吉	加藤武	加藤靜夫	加藤寛一	大原寛	大塚辰雄	大塚讓三郎	大島清七	大久保清次
千葉	富山	栃木	東京	東京	栃木	茨城	栃木	東京

京	東	東	東	東	東	京	東	東	東	東	京
經	經	經	法	經	經	經	法	經	法	文	法
古口英男	小泉安男	軍司式	吉光寺秀夫	木村秀崇	川手謙二	川崎眞次郎	川崎勝世	神永三千三	金子利一	梶浦俣夫	梶圭之介
栃木	茨城	茨城	栃木	宮城	東京	東京	茨城	茨城	千葉	愛知	東京

東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東
經	法	經	法	法	法	法	經	法	法	文	經
高橋茂	高洲紀雄	田中陽太郎	田中盈	田中勝介	鈴木斗人	須藤文雄	鹽澤信濃	莊田武雄	篠崎武雄	笹島菊次郎	小林剛
福島	東京	東京	山口	東京	千葉	千葉	栃木	岡山	栃木	茨城	茨城

東工	逸見行雄	北海道	新醫	青木伸	茨城	東醫	入澤廉	東醫	今井霸太郎	新潟	東醫	磯山義	東工	飯田利雄	東京	京文	井村恒郎	茨城	京醫	有原康次	千葉	新醫	青木伸	茨城	東工	保土田春雄	静岡	九工	堀越二郎	茨城	東農	堀越二郎	茨城	九醫	增澤五六	東京	東工	山縣東一	栃木	東工	松尾琢之	兵庫	京工	山縣東一	栃木	京醫	横山哲雄	神奈川	東農	倉田軍一	山口	東農	倉田宣威	千葉	千醫	岡谷勤	千葉	千醫	大野俊雄	千葉	千醫	大久保敬三	茨城	千醫	金澤要	茨城	東醫	倉田軍一	山口	東農	倉田宣威	千葉
----	------	-----	----	-----	----	----	-----	----	-------	----	----	-----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	-----	----	----	-------	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	------	-----	----	------	----	----	------	----	----	-----	----	----	------	----	----	-------	----	----	-----	----	----	------	----	----	------	----

理科乙類

(三十四名)

東醫	近藤駿四郎	愛知	京醫	鈴木巖	福島	京醫	瀧田健次郎	茨城	東醫	谷島辰男	埼玉	東醫	中井潔夫	島根	東醫	中村薫	茨城	東農	長畑壽賀雄	群馬	東醫	仁平弘夫	茨城	東醫	西村東作	山口	千醫	長谷川軍平	群馬	東醫	林光一	岐阜	京醫	鈴木巖	京都	京醫	瀧田健次郎	千葉	東工	堀三男	福島	東醫	本間操	茨城	東醫	丸山文雄	東京	千醫	宗政四郎	千葉	東醫	矢部要三	栃木	京醫	柳橋實	茨城	東法文	吉川廣一	東京	東醫	藤村紫郎	京都	東工	古橋千代曾	千葉	東工	堀三男	福島	東醫	本間操	茨城	東醫	丸山文雄	東京	千醫	宗政四郎	千葉	東醫	矢部要三	栃木	京醫	柳橋實	茨城	東法文	吉川廣一	東京
----	-------	----	----	-----	----	----	-------	----	----	------	----	----	------	----	----	-----	----	----	-------	----	----	------	----	----	------	----	----	-------	----	----	-----	----	----	-----	----	----	-------	----	----	-----	----	----	-----	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	-----	----	-----	------	----	----	------	----	----	-------	----	----	-----	----	----	-----	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	-----	----	-----	------	----

文科甲類

昭和二年三月卒業

(七十一名)

東北法文	東法	東法	東文	九法文	東文	東經	東經	東法	東經	東經		
谷口昇	田村啓七	田村基一	田土部勝德	田爪英雄	田上元德	鮮于鉉	關谷清	關市昌	鈴木幸	鈴木健藏	杉江忠男	杉浦勝郎
栃木	栃木	新潟	茨城	東京	茨城	朝鮮	山口	岩手	千葉	福島	東京	東京
東文	東經	東經	東經	東北法文	東文	東經	東經	東經	東法	東經	東法	東經
土方定一	日比野七郎	半田不二夫	林日魯司	原憲	塙豐比古	萩谷健彦	西村平八郎	丹羽喬四郎	永島寛一	中島盛三	富澤隆一郎	千葉成夫
愛知	栃木	神奈川	茨城	鳥取	茨城	茨城	青森	東京	栃木	茨城	茨城	福島

三〇三

京法	東經	東經	東文	東法	東經	東法	京文	東經	東經	東法	京經	
大木動	及川盛雄	小原靜雄	小川治雄	梅崎秀雄	糸賀悌治	石岡富七	池野清躬	飯塚俊雄	伊藤政雄	伊藤興三	新江泰	雨宮平八
福島	岩手	新潟	千葉	東京	東京	山形	栃木	福島	長野	東京	栃木	山梨
東北法文	東經	京城大	東法	京法	東經	東經	東經	東經	東法	東法	東經	東經
所澤義夫	澤井丈雄	兒島英二	小坪洋	工藤征一	木村直義	木村源四郎	川口正	門井一郎	河原武	加藤武雄	岡田浩治	大橋壽
長野	千葉	岡山	茨城	東京	茨城	神奈川	東京	埼玉	栃木	東京	栃木	香川

三〇二

東	東	東	東	京	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東
經	文	經	文	法	法	文	經	法	經	文	經	文	經	經
野崎正良	西田保	永井十四男	中山真	中村善一	中島元男	内藤浩次	東原繁次	立原一夫	高山喜代志	竹内正夫	田村專之助	田口斌男		
埼玉	三重	茨城	茨城	新潟	栃木	東京	栃木	福島	千葉	千葉	群馬	茨城		
東	東	東	京	東	東	京	東	東	東	東	東	東	東	東
經	經	文	經	法	經	法	經	文	文	經	文	法		
吉葉誠之	山田幹一	山田孝	山越滋	柳田啓兵衛	森本太真夫	水田三喜男	星野金吾	深作守文	平塚益徳	早川正武	橋本成文	登坂達夫		
茨城	佐賀	茨城	長野	栃木	愛媛	千葉	茨城	茨城	茨城	東京	茨城	山形		

東	東	京	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東
法	經	法	法	文	經	經	法	法	法	法	法	法	法	經
黑河内康孝	倉井利正	菊池憲太郎	木村靖比古	木佐森吉太郎	上村末雄	蕪木元資	鐘ヶ江晴夫	荻野英男	大島末夫	大野用高	大河内一雄	大内正己		
福島	栃木	栃木	岩手	神奈川	東京	新潟	東京	群馬	茨城	鹿兒島	廣島	茨城		
京	東北	東	東	東	東	東		東	東	京	東	東	東	東
法	法	法	法	文	經	經		文	經	經	經	文	文	文
蘭兼之	袖山左京	鈴木允	鈴木猷吉	鈴木傳三郎	島浦精二	佐藤正幸	佐藤正樹	近藤齊	五味淵壽	小島信一	結束進一	黑澤龍雄		
東京	茨城	栃木	茨城	福島	大阪	栃木	神奈川	千葉	栃木	群馬	茨城	東京		

東法 渡邊茂雄 栃木

文科乙類

東法 石井榮 栃木

東法 石澤守雄 北海道

東法 磯山利雄 茨城

東經 岩淵憲次郎 栃木

京經 宇都宮德馬 東京

江見千尋 新潟

小澤豐 静岡

東北法文 貝山晋 宮城

東法 金子安雄 山形

東經 川田金造 栃木

(三十三名)

東文 久保舜一 東京

東經 小財三郎 滋賀

東經 西園寺二郎 東京

東法 齋藤重行 新潟

東經 酒井昌一郎 茨城

東經 坂場庸正 茨城

東文 鈴木專之介 茨城

東北法文 薄田司 福島

東經 手塚一郎 茨城

東經 中川韓治郎 東京

東經 中村忠良 熊本
東經 野尻義正 山形
東經 服部藹 岡山
東經 春山泰雄 新潟
東法 本庄久雄 兵庫
東文 松川吉治 秋田
京經 松山史郎 滋賀

理科甲類

東工 青山智裔 茨城

東工 有馬純信 鹿兒島

東工 井口益穂 長野

東工 稻葉徹郎 茨城

(四十名)

東法 植竹蔚 茨城

東經 牛山信弘 長野

東經 小野聰 千葉

東經 小野義雄 茨城

東法 三淵乾太郎 福島

東法 森田茂三郎 埼玉

東法 師岡健四郎 茨城

東法 山下平四郎 神奈川

東法 山田五郎 富山

東經 橫山新一 東京

總計	岡山醫科大學入學者						
	千葉醫科大學入學者	六	八	一四	一一	二三四	三四四一
	自宅						四八四一
		六九	三三	一〇二	四〇	三五	七五
							一七七

水戸高等學校校友會會則

第一條 本會ハ水戸高等學校々友會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ會員ノ親睦ヲ厚フシ智德ヲ磨キ身體ヲ練リ以テ校風ヲ振作スルニ在リ

第三條 本會ノ會員ハ左ノ四種ヨリ成ル

- 一 通常會員 本校生徒
- 一 特別會員 本校職員
- 一 贊助會員 本校卒業生及生徒タリシ者
- 一 名譽會員 本校舊教官及特ニ本會ニ功勞アリシ者

第四條 本會ニ左ノ諸部及應援團ヲ置ク

- 一 總務部
- 一 劍道部
- 一 柔道部

- 一 弓術部
- 一 陸上競技部
- 一 旅行部
- 一 庭球部
- 一 野球部
- 一 辯論部
- 一 文藝部
- 一 水泳部
- 一 ア式蹴球部
- 一 ラ式蹴球部
- 一 籠球部

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク (各部委員ハ他ノ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス)

- 一 會長 一名 學校長ヲ推ス

- 一 部長 各部一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 一 理事 二名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 一 指導員 若干名 各部ニ之ヲ置クコトヲ得特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 一 幹事 二名 (文科及理科各一名) 通常會員ヨリ互選ス
- 一 會計検査委員 三名 委員長一名特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱シ、委員二名學級委員ヨリ互選ス
- 一 部委員 各部若干名 (總務部ヲ除ク) 各部員ノ互選ニ基キ當該部長ノ推薦ニ依ル
- 一 學級委員 各學級正副各一名、各學級會員ヨリ互選ス
- 一 應援團幹部 若干名 通常會員ヨリ互選ス
- 一 書記 一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス
- 一 主計 一名 特別會員中ヨリ會長之ヲ委嘱ス

第六條 本會役員ノ任務左ノ如シ

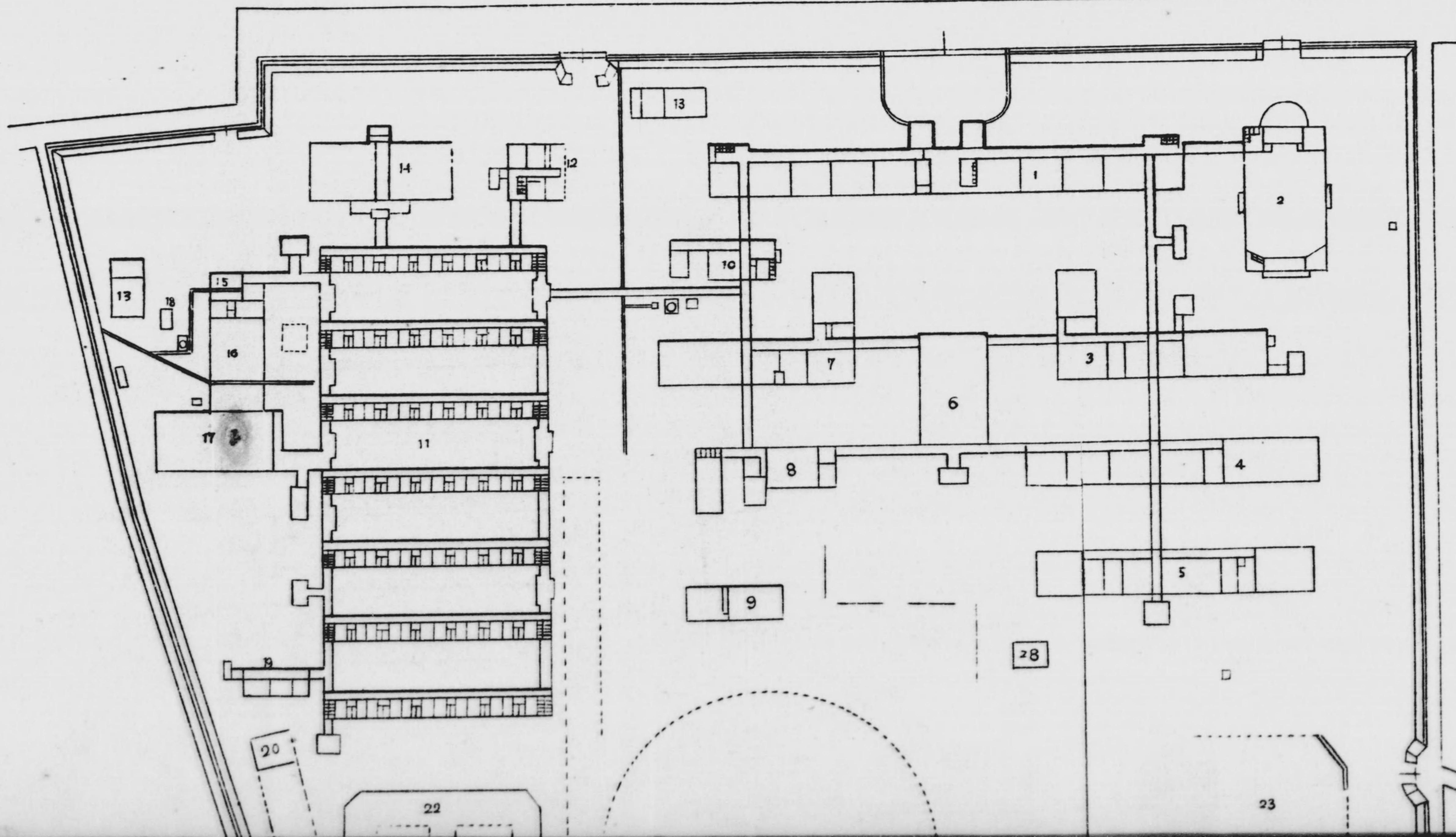
- 一 會長ハ會務ヲ總攬ス
- 一 部長ハ當該部ノ事務ヲ管理ス 但シ總務部長ハ會長事故アル時ハ其事務ヲ代理ス
- 一 理事ハ總務部ニ屬シ一般庶務會計ニ參與ス
- 一 幹事ハ總務部ニ屬シ一般庶務會計ヲ處理ス
- 一 會計検査委員ハ備品會計等ノ検査ヲナス
- 一 部委員ハ當該部ノ庶務會計ヲ處理ス
- 一 學級委員ハ各學級會員ヲ代表ス
- 一 應援團幹部ハ運動各部對校試合應援ノ事ニ當ル
- 一 書記ハ庶務ニ關スル事務ニ從事ス
- 一 主計ハ會計ニ關スル事務ニ從事ス

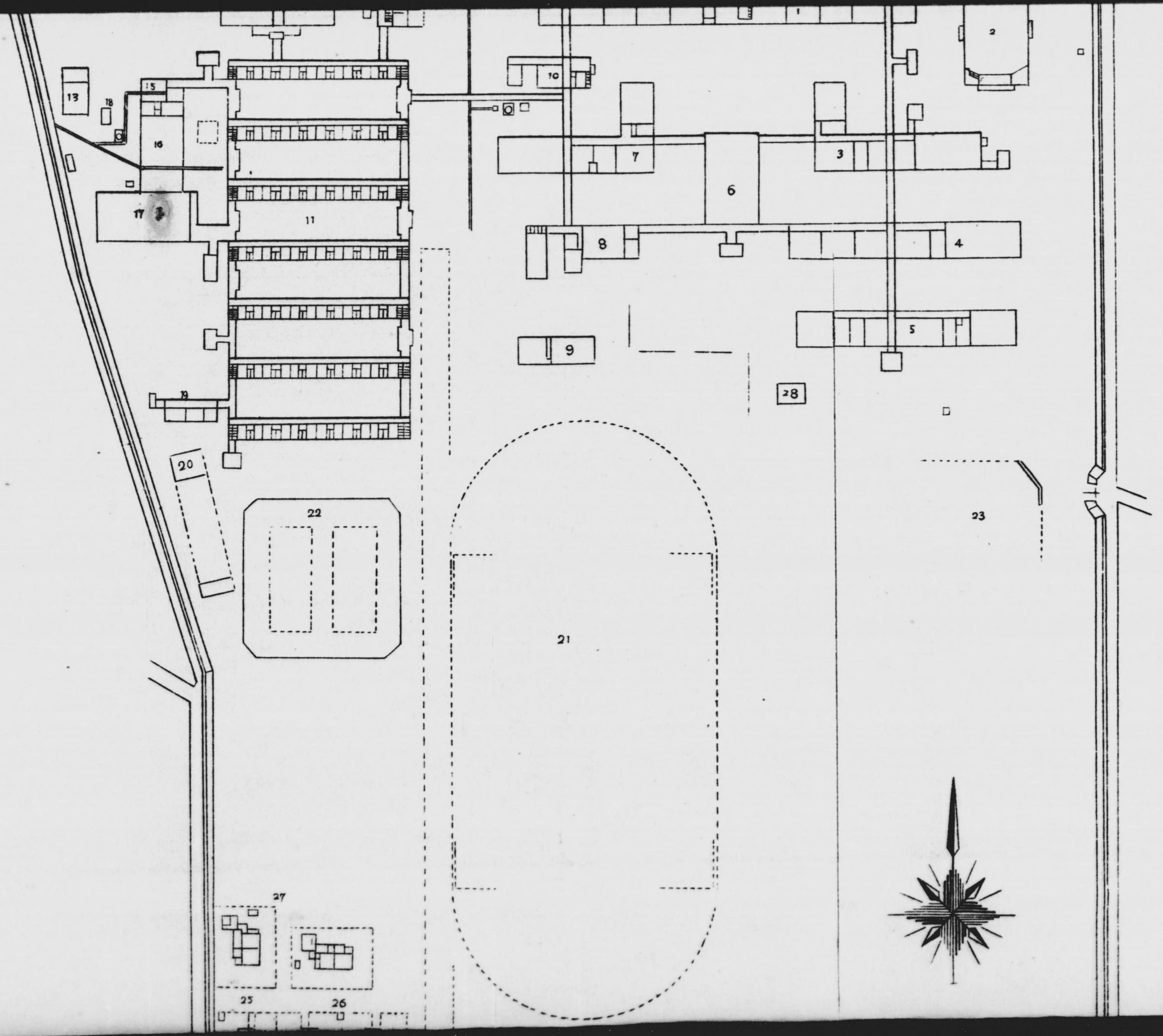
第七條 本會役員ノ選舉法及任期ハ次ノ如シ

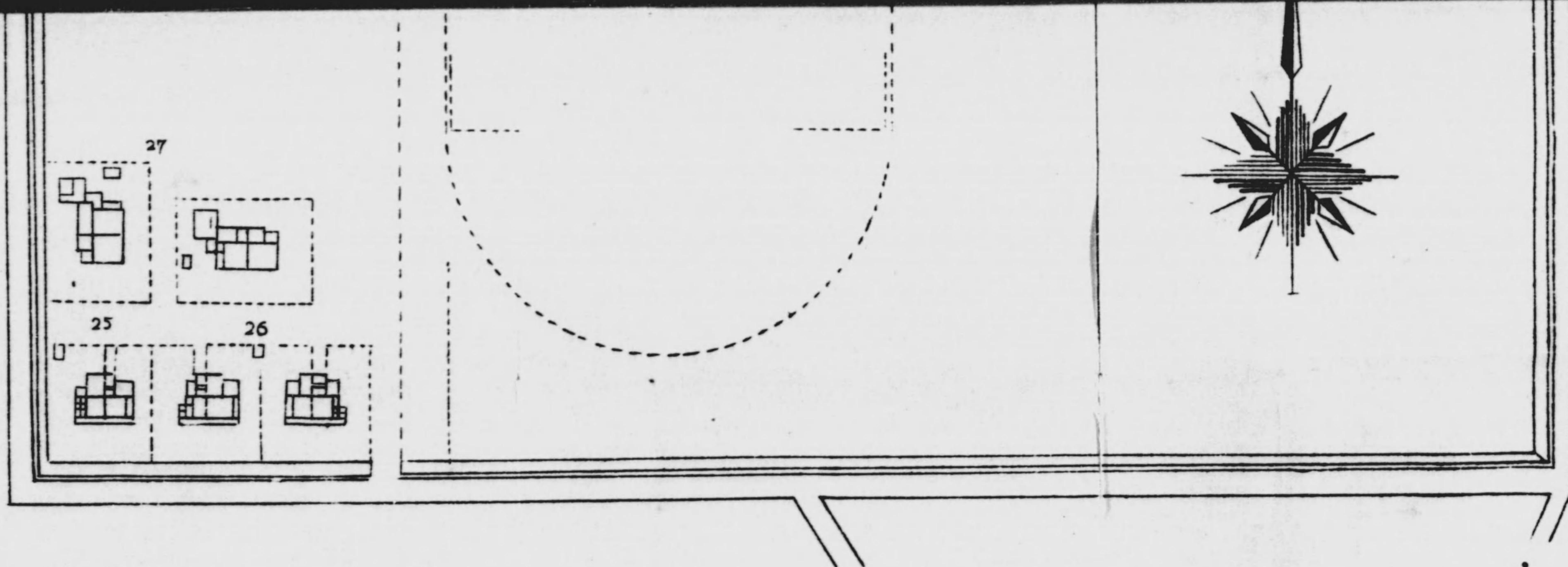
水戸高等學校 建物配置圖

本校敷地 二五五九四坪三合一勺

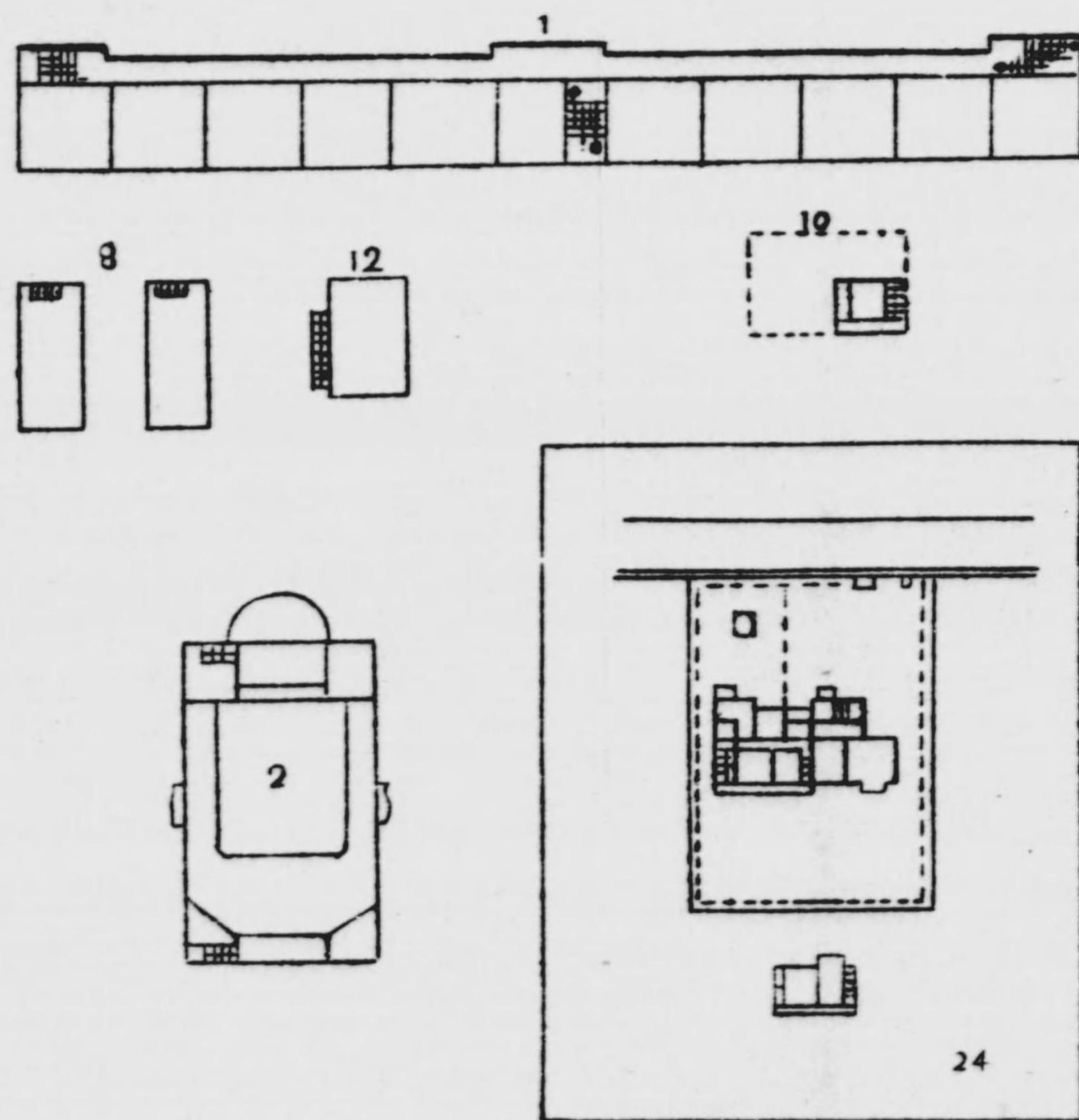
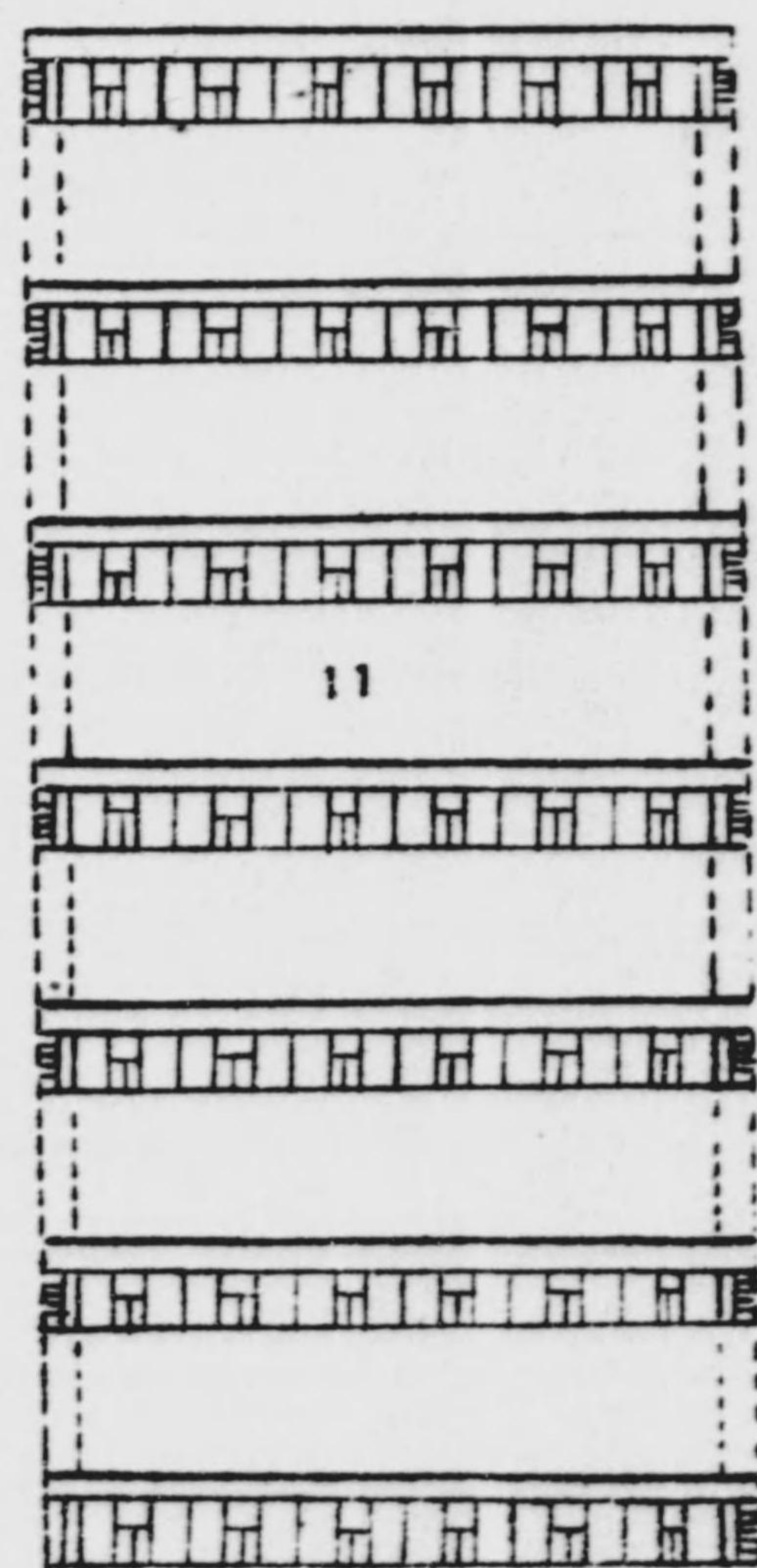
縮尺 一〇〇〇分一







階上



凡例

- | | |
|------------|-------------|
| 1 本館 | 14 柔剣道場 |
| 2 講堂 | 15 浴室 |
| 3 化学教室 | 16 炊事場 |
| 4 画学教室 | 17 食堂 |
| 5 博物学教室 | 18 汽罐室 |
| 6 生徒控所 | 19 攝生室 |
| 7 物理学教室 | 20 弓術場 |
| 8 圖書館 | 21 トラックワールド |
| 9 銃器室 | 22 テニスコート |
| 10 電気室及小便室 | 23 野球球場 |
| 11 寄宿舎 | 24 校長官舎 |
| 12 訓務課分室 | 25 舎監官舎 |
| 13 物置 | 26 判任官官舎 |
| | 27 外國人教師官舎 |
| | 28 植物温室 |

283
別庫
31

IT 5K 10

